

令和7年度

箕面市立介護老人保健施設 事業計画書

〈指定管理者〉

社会福祉法人 箕面市社会福祉協議会

## 令和7年度事業計画書目次

- (1) 実施計画 .....1~3
- (2) 収支計画（収支予算書） .....4~5
- (3) 人員体制計画 .....6
- (4) 職員研修計画 .....7

## (1) 実施計画

### 【経営理念】

#### 1 人権尊重

自己決定権を尊重し、安全を確保して、医療・看護・介護・リハビリテーションサービスを包括的に提供します。

#### 2 在宅復帰・在宅支援

住み慣れた地域で生活できるよう家庭復帰と在宅生活の支援を行います。

#### 3 地域福祉の推進と福祉文化の創造

福祉がいつでも、どこでも、誰でも権利として享受できるよう支援します。

### 【指定期間内の事業計画】

#### 1. 各サービスの定員等

##### (1) 施設サービス・短期入所・予防短期入所

<定員> 100床

<利用率の見込み> 1日平均91人

<利用料金> 介護報酬に係る利用料金は介護報酬告示額の1割～3割

##### (2) 通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション

<定員> 40人

<利用率の見込み> 1日平均27人

<利用時間> 午前7時45分から午後6時30分まで

<休所日> 日曜日、年末年始(12/31～1/2)

<利用料金> 介護報酬に係る利用料金は介護報酬告示額の1割～3割

##### (3) 訪問リハビリテーション、介護予防訪問リハビリテーション

<定員> 5人

<利用率の見込み> 1日平均2.5人

<利用時間> 午前8時45分から午後5時15分まで

<休所日> 土曜日、日曜日、年末年始(12/28～1/3)

<利用料金> 介護報酬に係る利用料金は介護報酬告示額の1割～3割

#### 2. リハビリテーションの充実

##### (1) ご利用者のニーズに合ったリハビリテーションの実施

個々のニーズに合わせたリハビリテーションを実施し、運動機能や日常生活における動作能力、活動性の維持・向上に努めていきます。ご希望に応じて個人トレーニングメニューを作成して自主トレーニングを促します。

##### (2) 集団リハビリテーションの実施

通所では、運動と認知の2つのトレーニングを同時に行う(マルチタスク)「若返り体操」を集団で行います。これにより認知機能の改善に取り組みます。入所においても、利用者の状況に合わせてマルチタスクを行っていきます。

##### (3) 在宅復帰に向けたリハビリテーションの実施

在宅復帰されるご利用者や在宅生活の継続を希望されるご利用者に対し、生活状況に合わせたリハビリを実施します。また、住環境の調整と福祉用具の選定を行い、家族に介助方法等を指導し、介護負担の軽減に努めていきます。

- (4) リハビリテーション提供体制加算の実施（通所リハビリテーション）  
療法士2名体制によるリハビリの充実（令和5年12月より実施）

### 3. レクリエーションの充実（機能維持や刺激）

#### (1) 入所

- ① 毎日2回職員によるレクリエーション（食事前の嚥下機能アップなど）
- ② 毎月その季節に応じた行事
- ③ 春から夏にかけての外出活動
- ④ 秋まつりの開催

#### (2) 通所

- ① 日々のレクリエーションとサークル活動

### 4. ボランティアの受け入れ、サークル活動の充実

#### (1) サークル活動

	サークル名	開催日
1	パソコン教室	週1回
2	喫茶	週1回
3	ビューティーケア	年6回
4	縫製	週1回
5	賛美歌	月1回
6	アフタースクールぴあにしも（発達障害児童放課後デイ）	年4回
7	傾聴ボランティア	月1回

#### (2) 多様なボランティアの受け入れ

- ① 各行事へのボランティア募集
- ② 新たな日常的ボランティアの募集

#### (3) ボランティア交流会の実施（年1回）

### 5. 人材育成の推進

- (1) 職員のスキルアップ（研修計画の実行、福祉用具の十分な活用）
- (2) 看護・介護スタッフの養成（実習受け入れマニュアルによる体系的な指導）

### 6. 危機管理対策への取組強化

- (1) 感染症対策の継続実施（BCP計画の訓練・研修実施、インフルエンザ、肺炎球菌ワクチンの接種など）
- (2) リスク対策（防犯・災害・事故防止。BCP計画の訓練、研修実施）
- (3) リスクマネジャーの増強（養成研修受講）

## 7. 市内高齢者福祉施設ネットワークの構築

市内4箇所の介護老人保健施設をはじめ、特別養護老人ホームなど施設ネットワークである連絡会組織を定期的開催し、情報交換や情報共有を行い、市内全体のレベルアップをはかるとともに、合同での研修などの企画も検討していきます。

## 8. 地域との連携や貢献、福祉教育への取り組み

地域へ貢献の取り組みとして、老健の得意分野を活かした出前講座を企画して、地域へ福祉の啓発や知識・技術の還元を行っていきます（自治会や市学童保育室への出前講座）。また小学校や中学校の福祉教育への協力を積極的に行っていきます。

## 9. ACP（アドバンスケアプランニング）の普及促進

将来の医療・ケアについて、ご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人の意志決定を支援するACP（アドバンスケアプランニング：人生会議）の意義や大切さを家族交流会などを通じて普及促進に努めます。

## 10. 社協内ネットワークの強化

地域福祉部門、在宅福祉部門との連携を強化し、有機的につながりのあるサービス提供や情報・技術共有を図れるように連携を強化していきます。

### 11. 業務効率化、生産性向上に向けた取り組み

16個あった委員会等を12個に再編し、令和6年度に発足したTQM委員会（TOTAL QUALITY MANAGEMENT）において抽出した課題解決をはじめとして、利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討し進めていきます。また、令和6年度に導入した介護ロボット（見守りセンサーやインカム）等を有効活用し業務効率化、生産性向上に向けた取り組みを行っていきます。

### 12. 必要な備品の更新、設備修繕等

経年劣化で傷んだベッドの入替え（予定4台）や浴室の床修繕（滑りにくくし転倒などを防止）を行います。

### 【年間事業計画】

1. 季節を感じとれる趣向を凝らした行事の開催（毎月）
2. 利用者アンケート、家族アンケートの実施、家族交流会の開催（年1回）
3. 各種職員研修の実施、各委員会の開催（毎月）
4. 避難訓練など危機管理対策の推進（年2回）

箕面市立介護老人保健施設拠点区分 資金収支予算書(当初予算)  
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算額(A)	前年度予算額 (B)	増減(A)-(B)	備考
収入	寄附金収入	1,000	1,000	0	
	經常経費寄附金収入	1,000	1,000	0	
	經常経費補助金収入		459,000	△ 459,000	
	都道府県補助金収入		459,000	△ 459,000	
	都道府県補助金収入		459,000	△ 459,000	
	介護保険事業収入	658,873,000	657,528,000	1,345,000	
	施設介護料収入	433,455,000	429,106,000	4,349,000	
	介護報酬収入	383,608,000	379,759,000	3,849,000	
	利用者負担金収入(公費)	17,102,000	16,143,000	959,000	
	利用者負担金収入(一般)	32,745,000	33,204,000	△ 459,000	
	居宅介護料収入	137,669,000	141,576,000	△ 3,907,000	
	(介護報酬収入)	120,295,000	123,742,000	△ 3,447,000	
	介護報酬収入	117,417,000	121,040,000	△ 3,623,000	
	介護予防報酬収入	2,878,000	2,702,000	176,000	
	(利用者負担金収入)	17,374,000	17,834,000	△ 460,000	
	介護負担金収入(公費)	421,000	421,000	0	
	介護負担金収入(一般)	16,628,000	17,107,000	△ 479,000	
	介護予防負担金収入(一般)	325,000	306,000	19,000	
	利用者等利用料収入	84,916,000	84,271,000	645,000	
	施設サービス利用料収入	7,213,000	7,136,000	77,000	
	居宅介護サービス利用料収入	1,784,000	1,868,000	△ 84,000	
	食費収入(公費)	7,961,000	7,961,000	0	
	食費収入(一般)	45,540,000	45,539,000	1,000	
	居住費収入(公費)	545,000	205,000	340,000	
	居住費収入(一般)	21,873,000	21,562,000	311,000	
	その他の事業収入	2,833,000	2,575,000	258,000	
	その他の事業収入	2,833,000	2,575,000	258,000	
	その他の収入	745,000	745,000	0	
	受入研修費収入	400,000	400,000	0	
	雑収入	345,000	345,000	0	
雑収入	345,000	345,000	0		
	事業活動収入計(1)	659,619,000	658,733,000	886,000	
事業活動による収支	人件費支出	420,314,000	422,218,000	△ 1,904,000	
	職員給料支出	223,185,000	217,883,000	5,302,000	
	職員賞与支出	27,949,000	34,076,000	△ 6,127,000	
	非常勤職員給与支出	109,420,000	97,957,000	11,463,000	
	派遣職員費支出	7,542,000	21,233,000	△ 13,691,000	
	退職給付支出	660,000	540,000	120,000	
	法定福利費支出	51,558,000	50,529,000	1,029,000	
	事業費支出	154,424,000	156,313,000	△ 1,889,000	
	給食費支出	32,448,000	32,448,000	0	
	介護用品費支出	5,325,000	5,325,000	0	
	医薬品費支出	6,565,000	10,330,000	△ 3,765,000	
	診療・療養等材料費支出	2,309,000	2,509,000	△ 200,000	
	医療費支出	924,000	800,000	124,000	
	教養娯楽費支出	754,000	747,000	7,000	
	水道光熱費支出	43,536,000	45,876,000	△ 2,340,000	
	消耗器具備品費支出	2,750,000	2,750,000	0	
	保険料支出	120,000	120,000	0	
	賃借料支出	11,375,000	11,335,000	40,000	
	車輛費支出	2,211,000	2,166,000	45,000	
	諸謝金支出	100,000	100,000	0	
	旅費交通費支出	40,000	40,000	0	
	修繕費支出	11,200,000	11,200,000	0	
	業務委託費支出	34,767,000	30,567,000	4,200,000	
	事務費支出	57,918,000	43,934,000	13,984,000	
	福利厚生費支出	2,005,000	1,901,000	104,000	
	職員被服費支出	800,000	640,000	160,000	
	旅費交通費支出	10,000	10,000	0	
研修研究費支出	600,000	600,000	0		

	事務消耗品費支出	450,000	450,000	0
	印刷製本費支出	61,000	55,000	6,000
	修繕費支出	10,000	10,000	0
	通信運搬費支出	1,198,000	1,132,000	66,000
	会議費支出	1,000	1,000	0
	広報費支出	22,000	34,000	△ 12,000
	業務委託費支出	46,571,000	34,500,000	12,071,000
	その他の委託費支出	46,571,000	34,500,000	12,071,000
	手数料支出	163,000	89,000	74,000
	保険料支出	1,792,000	1,139,000	653,000
	賃借料支出	2,417,000	1,427,000	990,000
	租税公課支出	723,000	870,000	△ 147,000
	保守料支出	771,000	752,000	19,000
	諸会費支出	284,000	284,000	0
	雑支出	40,000	40,000	0
	雑支出	40,000	40,000	0
	分担金支出	3,000,000		3,000,000
	分担金支出	3,000,000		3,000,000
	事業活動支出計(2)	635,656,000	622,465,000	13,191,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	23,963,000	36,268,000	△ 12,305,000
施設整備等による収入				
	施設整備等収入計(4)			
施設整備等による支出	固定資産取得支出	2,544,000	1,653,000	891,000
	車両運搬具取得支出		170,000	△ 170,000
	器具及び備品取得支出	1,715,000	1,483,000	232,000
	ソフトウェア取得支出	829,000		829,000
	ファイナンス・リース債務の返済支出	3,915,000	3,915,000	0
	施設整備等支出計(5)	6,459,000	5,568,000	891,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 6,459,000	△ 5,568,000	△ 891,000
その他の活動による収入	積立資産取崩収入	2,544,000	1,653,000	891,000
	車両・備品購入及び修繕積立資産取崩収入	2,544,000	1,653,000	891,000
	その他の活動収入計(7)	2,544,000	1,653,000	891,000
その他の活動による支出	積立資産支出	100,000	6,000,000	△ 5,900,000
	車両・備品購入及び修繕積立金積立資産支出	100,000	6,000,000	△ 5,900,000
	事業区分間繰入金支出		3,000,000	△ 3,000,000
	その他の活動による支出	19,204,000	18,323,000	881,000
	退職手当積立基金預け金支出	19,204,000	18,323,000	881,000
	その他の活動支出計(8)	19,304,000	27,323,000	△ 8,019,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 16,760,000	△ 25,670,000	8,910,000
	予備費支出(10)			
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	744,000	5,030,000	△ 4,286,000
	前期末支払資金残高(12)	101,667,000	44,937,000	56,730,000
	当期末支払資金残高(11)+(12)	102,411,000	49,967,000	52,444,000

### (3) 人員体制計画

令和7年4月1日現在

職種	資格	人数	配置 基準	役割等
施設管理者	医師	1(1)	1	施設サービス業務及び通所リハ業務を統括するとともに、入所者の健康管理及び医療の措置を講じる。
医師（非常勤）	医師	2(0.1)		施設管理者の指示の元に、入所者の健康管理及び医療の措置を講じる。
副管理者 （療養課長）	看護師	1(1)	10程度	施設管理者の指示の元に、入所・通所における療養・介護業務の統括を行う。
看護職員（入所）	看護師、准看護師	10(9.1)		施設管理者の指示の元に、入所者の保健衛生、看護業務を行う。
介護職員（入所）	介護福祉士または ホームヘルパー2級	35(32.9)	24程度	施設管理者の指示の元に、入所者の日常生活全般にわたる介護業務を行う。
看護職員（通所）	看護師	2(1.2)	4	施設管理者の指示の元に、利用者の保健衛生、看護業務を行う。
介護職員（通所）	介護福祉士または ホームヘルパー2級	17(11.9)		施設管理者の指示の元に、利用者の日常生活全般にわたる介護業務を行う。
運転手	特になし	8(3.6)	なし	通所サービス等の送迎車の運転業務を行う、
理学療法士	理学療法士	3(2.8)	入所1 通所0.5	施設管理者の指示の元に、施設サービス計画に基づき、入所者及び通所利用者に対し機能訓練及び生活指導などの業務を行う。
作業療法士	作業療法士	6(5.3)		
言語聴覚士	言語聴覚士	1(0.3)		
リハビリ助手	特になし	2(0.5)	なし	リハビリの補助業務。
支援相談員	介護福祉士	1(1.0)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所者並びに通所利用者及びその家族の相談業務</li> <li>・入所者の生活、行動プログラムの作成とその相談支援業</li> <li>・入所者に対してのレクリエーションの計画、支援業務</li> <li>・居宅介護支援事業者など関係機関との連携業務</li> <li>・ボランティアとの連携、支援業務</li> </ul>
管理栄養士	管理栄養士	1(1.0)	1	施設管理者の指示の元に、入所者等の食事献立に関すること及び入所者に対し栄養指導並びに栄養管理業務を行う。
介護支援専門員	介護支援専門員	2(2.0)	1	入所者の施設サービス計画の作成を行う。
施設業務補助	特になし	3(1.9)	なし	障害者雇用 主に入所者の水筒へのお茶入れやベッドの清掃や業務用の洗濯、洗濯物たたみなどを行う。
ケアアシスタント	特になし	12(3.2)	なし	直接介護をしない介護周辺業務を行う。配膳・下膳、洗濯、入浴前後の準備や片付け、清掃等。
事務長	特になし	1(1.0)	なし	施設管理者の指示の元に、管理監督・管理課業務の統括を行う。 施設管理者の指示の元に、事業の運営事務及び施設の維持管理業務を行う。
事務職員	特になし	6(5.0)	なし	

※人数の（ ）内の数字は常勤換算の人数を表しています

※夜勤については、看護職員1人、介護職員4人の計5人体制で行います。

## (4) 職員研修計画

### <人材育成の基本方針>

対人援助サービスにおいては人材こそが最高の財産です。その人材を集め、育成することが利用者サービスに直結するものと考えています。

箕面市社協職員として、地域福祉の視点を持って利用者を捉えることにより、箕面市立老健の発展のみならず、地域にも貢献し得る高い資質を持つ有為な人材を育成していきます。

その一環として、様々な実習の受け入れを行います。

介護福祉士の実習においては、養成校ごとに当施設独自の実習指導要綱を作成し、先進的な指導体制を確立しており、教育効果を最大限高める指導を行っていきます。また、看護師及び理学療法士、作業療法士の養成実習の受入を積極的に行っています。

さらに、教職員免許を得るための介護等体験実習の大学生受け入れを実施や箕面市役所の新任監督者、新人職員研修への協力も行います。

### <年間職員研修計画>

#### 1. 業務能力向上研修

- (1) 摂食嚥下障害に関する研修会（年1回）
- (2) 認知症ケアに関する研修会（年1回）
- (3) 看取りケアに関する研修会（年1回）
- (4) 排泄ケアに関する研修会（年1回）

#### 2. 人権問題、個人情報保護

- (1) 人権問題に関する研修会（年1回）
- (2) 虐待防止に関する研修会（年1回）
- (3) 個人情報保護に関する研修会（年1回）
- (4) 接遇研修（年2回）

#### 3. 危機管理研修、訓練

- (1) 身体拘束廃止に関する研修会（年1回）
- (2) 事故防止に関する研修会（年2回・自然災害BCP研修含む）
- (3) 感染予防に関する研修会（年2回・BCP研修含む）
- (4) 救急蘇生法に関する研修会（年1回）
- (5) 消防避難訓練（年2回）
- (6) BCP計画訓練（自然災害1回、感染症1回）

### <指定期間内に実現する総合的人材育成計画>

看護師及び療法士なども含め、各専門分野だけにとどまらない総合的な人材育成をコンセプトに「箕面市社協職員キャリアアップシステム」を実施します。

### <法人内における研修の共有>

老健において行われる研修を他部署へも案内し、法人内職員が参加できる状況を作っていきます。また、他部署にて行われる研修へ老健職員も参加しスキルアップを図ります。